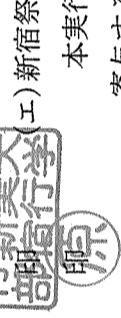


2025年度 工学院大学学園祭実行委員会新宿祭実行部

工学院大学学園祭実行委員会新宿祭実行部
部長 原 直路



祭をより安全に円滑に運営することができる。

本実行部は、学生が学術・文化活動の成果を発表する場を企画・運営し、本学の広報及び発展に寄与することを目的とし、11月に新宿キャンパスで行う新宿祭を企画・運営する。そのためにはステージ企画、教室展示、模擬店を中心とした学生団体の発表の場を提供し、日々の活動の発展と今後の活動の促進及び学生生活の充実、向上につなげる。また来場者の新宿祭への満足感により、本学の知名度向上につなげ、本学の広報活動に貢献する。

次に学園祭で毎年掲げているテーマによって、キャンパス全体を1つの世界観で統一し、来場者、参加団体を非日常の世界に引き込むための装飾を行う。また、新宿キャンパスの特徴である、外部の都会の雰囲気と差別化できる閉鎖空間を活かし装飾を施す。

アトリウムには特設ステージを参加団体の発表の場の提供の一部として設置する。そしてアーティスト、芸能人を招致してのアーティストライブやお笑いライブ、文化会主催の声優トークショーや参加団体による発表、本実行部が主催する企画といった、老若男女の来場者にあつた様々な企画を行い、より多くの来場者が盛り上がることができ、新宿祭の認知度を向上させる。

キャンパスの外部では、模擬店を開催し、閉鎖的な新宿キャンパスの外とのつながりを生む要因とする。また来場者が多くのコンテンツに回りやすくするために新宿祭堪能スタンプラリーを実施し、参加団体の発表の場への来場者を誘導し、来場者の満足度と参加団体の満足度の双方を向上させる。また、新たな取り組みとして、新宿キャンパス南側の敷地を利用し、地域と連携した企画を実施する。

1階東口付近の階段では、新宿キャンパスのビル型キャンパスの魅力を活かした独自の企画である鉄人29階を実施する。来場者には、新宿キャンパスの魅力を体感してもらい、本学に興味を持ついただき、本学の発展に寄与する。

次に広報活動は、例年、本学内外に行っていた情報宣伝から、拡充して行く、さらなる新宿祭の認知度向上をさせる。そしてそれを基盤に、本学の知名度を向上させることに貢献する。昨年度は、新型コロナウイルス感染症で落ち込んでいた来場者数が改善され、今年度は新宿祭をより発展させることで来場者、参加団体、本学の満足度を向上させることができ。そのため昨年に引き続き、メインとなる来場者の対象者を中高生として考えており、広報活動を対象者に向けて厚くすることができると共に加えて、大学受験を意識している中高生に向けて本学自体の雰囲気から本学学生の雰囲気まで多くの面を知ることができ。新宿祭をさらに多くの人に認知してもらうことを行いう。

(イ)学園祭全体会議
別々のキャンパスで活動をしている八王子祭実行部と新宿祭実行部の間で情報共有をすることと、委員会全体での意識統一及び向上を行う。また両実行部での問題を共有、討論をし、改善を努め、より良い実行部、委員会にする。

(ウ)八王子祭

学生団体の発表の場を提供し、本学の広報及び発展に寄与することを目的として、9月に八王子キャンパスにて八王子祭を企画・運営する。また新宿祭実行部の委員が運営に加わることで昨年度の経験を活かし、八王子祭実行部のみでは目の行き届かない部分の管理をすることができ、八王子

以上を 2025 年度学園祭実行委員会新宿祭実行部の方針とする。